

# 評価結果報告書

## 地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	11
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	2
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	6
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	11
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	30

事業所番号	4372401135
法人名	有限会社 ふれあい松川
事業所名	なごみの園・菊水
訪問調査日	平成 20 年 1 月 16 日
評価確定日	平成 20 年 2 月 15 日
評価機関名	特定非営利活動法人 あすなる福祉サービス評価機構

### ○項目番号について

外部評価は30項目です。

「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。

「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。

番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

### ○記入方法

[取り組みの事実]

ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。

[取り組みを期待したい項目]

確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に○をつけています。

[取り組みを期待したい内容]

「取り組みを期待したい項目」で○をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

### ○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者（経営者と同義）を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成 20年 2月13 日

## 【評価実施概要】

事業所番号	4372401135		
法人名	有限会社 ふれあい松川		
事業所名	なごみの園・菊水		
所在地	玉名郡和水町長小町334 (電話) 0968-71-8880		

評価機関名	特定非営利活動法人 あすなる福祉サービス評価機構		
所在地	熊本市南熊本3-13-12-205		
訪問調査日	平成20年1月16日	評価確定日	平成20年2月15日

## 【情報提供票より】(19年12月27日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	平成 17 年 3 月 11 日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	7 人	常勤 6 人, 非常勤 1 人, 常勤換算	6.5 人

### (2) 建物概要

建物構造	木造平屋 造り		
	1 階建て		

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	30,000 円	その他の経費(月額)	15,000 円
敷金	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり		1,000 円

### (4) 利用者の概要(12月27日現在)

利用者人数	9 名	男性 2 名	女性 7 名
要介護1	2 名	要介護2	4 名
要介護3	0 名	要介護4	2 名
要介護5	1 名	要支援2	0 名
年齢	平均 88.1 歳	最低 72 歳	最高 101 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	和水町立病院 田辺外科内科クリニック ふじさわ脳神経外科クリニック 渡辺歯科
---------	---

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

デイサービスを併設するホームは、相互交流を通じ入居者とデイ利用者が馴染みの関係を構築しながら、和気あいあいとした日々を過ごしている。19年度は医療体制の充実を図り、24時間対応の協力医院との連携とともに訪問看護によりきめ細かい支援が行われている。法人の機能を生かし夏祭りでは大型トラックを特設ステージとして使ったり、祭りの準備作業等ボランティアとして協力が得られ、活気あるホーム運営に生かされている。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>玄関脇のホーム名の入った看板の設置と浴室入口の手すりの設置に早急に取り組んだ。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>自己評価については全員で取り組み、ひと月をかけ職員一人ひとりが考えを持ち寄り管理者がまとめあげた。</p>
重点項目②	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>19年度より医療連携体制を整え、入居者に対し医療面でのきめ細やかな支援が出来るようになり、会議にその都度報告を行っている。又、初めての取り組みとして昼食にバイキング方式を採用し、第三者に試食してもらい、運営推進会議で報告をしている。</p>
重点項目③	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>家族会で出されたケアや行事に対する意見について、職員を交え話し合いを行い、参加できなかった家族には訪問時や電話にて報告している。</p>
重点項目④	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>近隣の方々が散歩中立ち寄りられたり、毎年花を届けてくださる方や近くの神社での奉仕活動など地域とのつながりが出来つつあるが、ホーム側より更に積極的に地域に行く意向であり、地域との連携を深められることが今後期待できる。</p>

## 2. 調査報告書

(    部分は重点項目です )

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地元の保育園跡地に建てられたホームは、開設時より地域との繋がりを事業の重要課題と位置づけ、理念の中に盛り組んでいく。		
	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念を、職員、来訪者も目にする数箇所に掲示し意識付けと共有化を図っている。		
2. 地域との支えあい					
	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	ホーム主催の秋祭りに近隣の方を招待したり、地域の神社掃除に参加したり、近隣者の立ち寄りやすい雰囲気作りに努力している。今後は、運営推進会議や区長さん等の協力を得ながら、ホーム理念に沿った地域との交流を深める事を模索中である。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価については、全員で取り組み、ひと月をかけた職員一人ひとりが考えを持ち寄り管理者がまとめあげた。前回の外部評価の結果を受け玄関わきに手作りの看板を設置したり、浴室の手すりを新たに取付けるなど早急に改善が行われた。		
	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議で自己評価や外部評価について出席者に説明を行っている。2ヶ月に一度の開催し、行政・家族・施設長・職員・交流のある他のグループホームの代表者が参加し、具体的なケアの内容についての話し合いや報告が行われている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	運営推進会議以外にも、管理者はホームの近況報告をしたり、他の施設の情報提供を受けるなど関係作りに努めている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族に対し毎月一回入居者の状態を手紙にて報告し離職についても退職職員の説明をおこなっている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議後に行われる家族会や日々の面会時等で家族の意見や要望を十分くみ取り、その経過や結果については次回の家族会にて説明し、参加のなかった家族へは来訪時などに報告を行っている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の異動や離職は少なく入居者は慣れ親しんだ職員と穏やかな日々を送っている。昨年、離職した職員も退職時期を二ヶ月間延長するなど入居者への配慮が窺える。後任についてもなるべく地元からの採用を検討している。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	ホーム内研修の充実をはかり職員の意識向上・レベルアップに努力しているが、日中の外部研修への参加はなかなか困難なようである。	○	職員が安心して参加できる勤務体制の充実と計画的な研修の実施が望まれる。
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地区のブロック会議に二ヶ月に一回1～2名の職員が参加したり交流のあるグループホームの管理者同士がお互いの運営推進会議に参加するなど交流を深め質の向上に努めている。	○	他のホームとの交流を今後は全職員が参加する機会を持ちたいと管理者も実践に向け意欲的である。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居希望者には事前のホームの見学や日中他の入居者と過ごしてもらったり、時には宿泊等入居前の不安を解消する努力をしている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は常に人生の先輩である入居者を敬い尊敬の念を持ってケアにあたっている。干し柿作りでは紐の結び方を入居者に教わったり食卓にのぼる漬物も一緒に漬けたり共に支えあう日々を過ごしている。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	職員は食後のゆっくりとした時間に季節の話をしながらか外出先の希望を聞いたり、普段の会話の中から入居者の希望や思いを引き出し日々のケアに反映させている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人や家族・担当職員の意見や意向を反映したプラン作成がなされている。出来上がったプランについては家族へ説明をし確認印にて了解を得ている。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	三ヶ月ないし半年での見直しが行なわれているが入居者の現況とプランの文章化に至るまでの時間差があるようである。	○	高齢化や状態の急激な変化に即したプランの見直しに期待したい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	受診対応や買物支援等柔軟に対応している。隣接の通所介護サービスとの交流も積極的に行われている。		
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人・家族の希望によるかかりつけ医や協力医院での受診となっている。認知症に対する理解ある協力医院による定期的な検診や訪問看護サービスも採り入れ、本人・家族への安心に繋げている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	状況に応じて方向性を小まめに話し合っている。現段階ではターミナルの話、覚書まで交わしている入居者もいるが全員までには至っていない。		
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1)一人ひとりの尊重</b>					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	一人ひとりの生活歴や性格などに応じた会話や対応である。個人記録などは特に他人の目に触れないようにするなど個人情報の取り扱いには特に配慮している。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者個々のペースに合わせた過ごし方を大切に支援しているが、ついつい職員の都合に合わせてしまうこともある為、今後も職員間で入居者のペースを尊重したケアの大切さを課題にした話し合いを持っていきたい意向である。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	料理本やテレビの料理番組を見ながら入居者の要望を聞き、献立に反映させている。ホームの畑で収穫した野菜を使用する事で食の安全をはかり、食事中的話題へと広がり楽しい食事となっている。配膳・下膳・食器拭きなども一緒に行われている。	○	入居者の食事中的のエプロン使用は十分な配慮をお願いしたい。
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	一日おきの入浴支援の中でゆず湯等の季節風呂や必要に応じ清拭やシャワー浴などを行い清潔保持に努めている。	○	脱衣所に洗剤等を置く棚を設置することによりスペースも広がり誤飲・異食防止に繋がると思われる。検討いただきたい。
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	入居者の生活歴を把握し趣味や得意分野が発揮できるよう支援している。昼食の準備として畳の間に腰を下ろしごぼうのよし悪しの選び方を話しながらさがきをされる姿、張り合い・喜びのある生活を垣間みる事ができた。ホームの畑では季節の野菜作りの他、小豆の種まき、収穫、豆の選別で、おやつのぜんざいに使用するなど一貫した楽しみへの活動支援がされている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天候や体調を見ながらできるだけ戸外に出る機会を支援している。気の合った仲間同士で安全に整備された広い庭を朝夕、日課で散歩される入居者の姿があった。	○	今後も引き続き一人ひとりのその日の希望に沿った外出支援ができる体制作りを検討されている。今後に期待したい。
<b>(4) 安心と安全を支える支援</b>					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	施錠の弊害は全職員理解し隣接のデイサービスの職員・近隣の協力を得鍵を掛けないケアの実践に取り組んでいる。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	運営推進会議の中で災害時に近隣の協力を依頼している。避難訓練は年一回行っている。	○	消防署立会いの訓練をはじめ災害時のマニュアル作成・水や食料他災害時の備蓄等有事に万全な対策が早急に必要と思われる。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取量はチェック表に記入し、健康管理を行っている。水分については、必要時に水分チェック表に残し、水分不足とならないよう配慮している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	居間、食堂、トイレ等共有空間には職員や家族の持ち寄った季節の花がさりげなく生けられている。室内は整理整頓が行届き、ゆっくり寛げるソファや広い畳の間もあり、入居者は思い思いの時間を過ごされている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家族の協力のもと、馴染みの家具や好みのカレンダー等が持ち込まれている。今後も入居者が居心地良く過ごせるよう、引き続き家族への協力・理解に努めたい意向である。		



# 自己評価票

- 自己評価は全部で100項目あります。
- これらの項目は事業所が地域密着型サービスとして目標とされる実践がなされているかを具体的に確認するものです。そして改善に向けた具体的な課題を事業所が見出し、改善への取り組みを行っていくための指針とします。
- 項目一つひとつを職員全員で点検していく過程が重要です。点検は、項目の最初から順番に行う必要はありません。点検しやすい項目（例えば、下記項目のⅡやⅢ等）から始めて下さい。
- 自己評価は、外部評価の資料となります。外部評価が事業所の実践を十分に反映したものになるよう、自己評価は事実に基づいて具体的に記入しましょう。
- 自己評価結果は、外部評価結果とともに公開されます。家族や地域の人々に事業所の日頃の実践や改善への取り組みを示し、信頼を高める機会として活かしましょう。

## 地域密着型サービスの自己評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	22
1. 理念の共有	3
2. 地域との支えあい	3
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	5
4. 理念を実践するための体制	7
5. 人材の育成と支援	4
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	10
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	6
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	17
1. 一人ひとりの把握	3
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	3
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	10
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	38
1. その人らしい暮らしの支援	30
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	8
V. サービスの成果に関する項目	13
合計	100

## ○記入方法

### [取り組みの事実]

ケアサービスの提供状況や事業所の取り組み状況を具体的かつ客観的に記入します。(実施できているか、実施できていないかに関わらず事実を記入)

### [取り組んでいきたい項目]

今後、改善したり、さらに工夫を重ねたいと考えた項目に○をつけます。

### [取り組んでいきたい内容]

「取り組んでいきたい項目」で○をつけた項目について、改善目標や取り組み内容を記入します。また、既に改善に取り組んでいる内容・事実があれば、それを含めて記入します。

### [特に力を入れている点・アピールしたい点] (アウトカム項目の後にある欄です)

日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入します。

## ○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

## ○評価シートの説明

評価調査票は、プロセス評価の項目(No.1からNo.87)とサービスの成果(アウトカム)の項目(No.88からNo.100)の2種類のシートに分かれています。記入する際は、2種類とも必ず記入するようご注意ください。

事業所名	なごみの園・菊水
(ユニット名)	
所在地 (県・市町村名)	熊本県玉名郡和水町長小田334
記入者名 (管理者)	家入 尚美
記入日	平成 19年 12月 27日

# 地域密着型サービス評価の自己評価票

(  部分は外部評価との共通評価項目です )

取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
<b>I. 理念に基づく運営</b>				
1. 理念と共有				
1	<input type="checkbox"/> 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	開設当初より地域との関わりを事業目的に掲げており理念の中にも明記しています。	○	清掃活動や行事へのお誘いなど少しずつですが地域との交流を深めています。しかし、理念に基づく具体的なサービスとしては確立されていませんので、具体的なサービスになるように体制を整えていきたいと思っています。
2	<input type="checkbox"/> 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念は玄関と日中職員が常に目にする事が出来る場所に掲示し、日常的に意識できるようにしています。	○	実践する為の具体的な内容を話し合う機会を数多く設けたいと思っています。
3	<input type="checkbox"/> 家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	来園された方(家族、第三者等)には、機会を設けお話をしています。	○	来園されたことがない方やご近所の方に積極的にお話しする機会を設けていないので、今後取り組んでいきたいと思っています。
2. 地域との支えあい				
4	<input type="checkbox"/> 隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	日常的な挨拶はもとより、ご近所の方が立ち寄られた際は、ゆっくりお話をしています。	○	建物が道より入り込んだ所にある為、ふらりと立ち寄るといふ立地条件ではありませんが、気軽に寄れる雰囲気を一層整えたいと思っています。
5	<input type="checkbox"/> 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	老人会・地域の方の踊りなどの慰問や当事業所のお祭りへの参加は受けていますが、地域の行事に出向くことが出来ていません。	○	地域の一員として、まずは建物がある地域の行事に入居の皆様と参加できるように努めたいと思っています。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	職員の経験や知識を少しでも地域の方に生かせないかと運営推進会議の際に老人会や婦人会の方とお話をしています。	○	具体的な取り組みには至っていません。地域の“ほっとステーション”となれるように努めたいと思います。
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価をすることで自らのケアを振り返り、外部評価により、職員が実際に行ってきたケアに反省や自信を与えてもらえます。その事で具体的な改善や励みにつながっています。	○	自己評価をすることの意義、外部評価を受ける意義を更に理解できるように努めたいと思います。
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回の頻度で会議を開催し、取り組んでいることの報告や提案を行い参加者から意見を頂いています。会議の結果や参加者から提案された事案については職員間で話し合い、ケアの向上につなげる為の具体的な方策を見出すよう努めています。	○	会議参加者からの活発な意見や要望が出辛いようなので、環境作りを行いながら多様な意見を集約しケアの向上に努めたいと思います。
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	運営推進会議で町担当者や地域包括支援センターとのつながりも出来たので、何らかの状況の時には相談等行っています。しかし日常的に交流する機会は少ないです。	○	地域に対しても出来る事業所の役割を市町村と協働で実現できるような機会を設けたいと思います。
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	成年後見制度について研修等を受け理解を深めています。積極的な啓蒙は行っていませんが、必要とされている方や興味がある方には機会を見ながらお話しています。	○	職員間で権利擁護について話し合いの場を設け理解を深める事が出来るように努めたいと思います。
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	具体的な研修に参加は出来ていませんが、事業所内で虐待が見過ごされないように注意を払い、防止には努めています。	○	研修会等に参加し、情報を共有しながら全員が理解を深め、より良いケアにつなげる努力をしたいと思います。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
<b>4. 理念を実践するための体制</b>				
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>一回の説明では理解しにくいこともあるので、時間をかけたり、話し合いの場を数回設けて、不安や疑問が残らないように努めています。</p>	○	利用者や家族から積極的に疑問点を確認されることが少ない為、聞きやすい環境作りを行いながら十分理解して頂けるように努めたいと思います。
13	<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>利用者の意見等はその場で職員が受け、家族に伝えられた意見も収集するようにしています。意見等は運営に反映できるよう体制を整えています。</p>	○	意見、不満、苦情等気軽に言える環境作りに一層努め、対応が必要な場合は迅速に行えるようにしたいと思います。
14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>利用者の状態は必要に応じ面会時や電話等で報告を行っていますが、一ヶ月の暮らしぶりを要約して毎月必ずお知らせしています。</p>	○	今後は、ご本人を取り巻く環境の変化については職員の異動等も含め迅速に報告できるようにしたいと思います。
15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>「ご意見箱」を玄関に設置し、苦情窓口についても口頭や掲示物でお知らせしています。家族面会時や運営推進会議の場でも意見等の受け入れを行い運営に反映できるように体制を整えています。</p>	○	意見、不満、苦情等気軽に言える環境作りに一層努め、対応が必要な場合は迅速に行えるようにしたいと思います。
16	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>運営に関して職員から意見を聞く機会が殆どなく、また、職員の方から積極的に提案が出せる環境が整っていません。</p>	○	積極的に運営に関われるように環境を整えたいと思います。
17	<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>可能な限り勤務調整を行い要望に応じていますが、限られた職員数で対応している為、十分とは言えません。</p>	○	現状を継続しながら、体制の見直しに努めたいと思います。
18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員離職の場合は、利用者にはダメージがかからないように既存の職員のチームワークで防ぎ、職員体制を少しでも早く整えるように努めています。</p>	○	職員の交代の場合、顔馴染みの職員による支援が出来るような勤務体制が取れるように努めたいと思います。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>			
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部の研修に積極的に参加できるよう体制を整えています。職員が働きながらトレーニングを希望する場合も出来る限り尊重し、参加できるように調整に努めています。	○ 職員のニーズを把握しながら計画的に研修に参加が出来るように体制を整えたいと思います。
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地区のグループホーム連絡協議会の勉強会や交流会に参加しています。また、訪問の機会を作り見学・談話を通じ創意工夫されている情報をもらいながらサービスの質の向上につなげています。	○ 勉強会等へは限られた職員の参加となっていることや施設訪問の機会もまだ少ない為、全員が多くの交流の機会が持てるようにしたいと思います。
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	ストレスを軽減できるような体制は出来ていません。職員間や個人でそれぞれにストレスを解消しているのが現状です。	○ ストレスがかからない職場環境を整え、軽減できる体制を整えていきたいと思います。
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	マンパワー不足もあり、日常の業務に追われてしまっているのが現状です。その中で職員が自信や向上心を持って取り組んでいることは、可能な限り支援しています。	○ 職員がやりがいを持って働ける環境を整えていきたいと思います。
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>			
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	ご本人と対する時は、傾聴、受容の姿勢で臨んでいます。また、ご本人の表情やしぐさ等にも配慮し、こちらから声掛けし、可能な限り気持ちを表出できるようにしています。	○ 今後とも本人自身から意思表示しやすい雰囲気を作り、その時に応じた受けとめを行っていただけるようにしたいと思います。
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	関係している機関(ケアマネージャー等)より情報収集しながら、傾聴、受容の姿勢で臨んでいます。	○ 今後とも家族から意思表示しやすい雰囲気を作り、情報収集しながら本人と家族を取り巻く環境を把握した上で傾聴、受容をおこなっていききたいと思います。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談を受けた時点で可能な限り考えられる方向性を示しながら対応しています。	○	初対面の相談からあまり時間をかけずに次の対応をしなければならぬ為、ご本人と家族の必要とするものを調整することが難しいことがあります。時間を有効に活用できる体制を整えていきたいと思ひます。
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	ご利用になる前に、見学や試し等を提案しています。また、ご本人の状態に応じてながら、グループホームが出来ること、家族がそこにどのように関わって頂くかを提案しながら、ご本人が安心して利用できるようしています。	○	家族の方が持つておられるイメージを払拭し、当グループホームが出来ることを理解して頂くように説明を続けていきたいと思ひます。
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	今まで培ってこられた経験を、共に生活することで教えることは多く有ります。一緒に笑い、一緒に悲しみ、時には口論しながら過ごしています。	○	今後も職員の対応が押し付けにならないように気をつけながら共に支え合える関係を築いていきたいと思ひます。
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	ご本人を支える為、ご家族の協力をお願いしています。家族の方にも関わっていただける環境を少しずつ整えています。	○	グループホームに入居された事でご家族が一步引かれてしまいがちなので、ご家族がご本人に関わっていきやすい環境を整えていきたいと思ひます。
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	情報収集をしながら、ご本人と家族等の関係を把握し、グループホームに入居されることで家族との絆が弱くならないような支援を行っています。	○	家族に押し付け感を持たれること無く、協働でご本人を支えられる関係を強化していきたいと思ひます。
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご本人に馴染みのある場所に外出したり、知人等の訪問を積極的に受け入れしています。	○	ご本人がグループホームに入居されたことで地域と絆が切れたと思われる方達に働きかけをしていきたいと思ひます。
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	ある程度はご本人達の行動を尊重していますが、孤立される方があれば、職員が仲介しお互いに関わりあえるように努めています。	○	今後も出来る限り皆様が支えあい、関わりあえるような関係になるように支援していきたいと思ひます。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	契約終了後も短期間ではありますが、ご家族が必要とされる支援を行った事はありますが、現在のところ継続的に関わりを必要とされた方はおられません。	○	関わりを必要とされる方がおられ、当事業所が対応出来る事は今後も継続していきたいと思います。
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	思いや希望など機会あるごとに情報を収集しながら、一人ひとりの意向を把握するように努めています。	○	利用者の意向を優先する体制は変わりませんが、意思表示しやすい環境を整え一つでも多くの希望を聞き出す努力をしたいと思います。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	家族や関係者等よりこれまでの生活歴を聞き取ったり、生活を共にする中で把握を努めています。	○	継続して情報収集を行いその人を理解し、より良い関わりができるようにしたいと思います。
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	その日の心身の状況に応じて対応できるように努めています。	○	その日の心身状態や発揮できる力を見極めその人らしく過ごすことが出来るようにチームケアに努めたいと思います。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人の思いや希望に職員がアセスメントした内容を介護計画に反映させています。	○	本人の希望や意向が表出しやすいような環境を作り、職員が把握できる体制を強化したいと思います。
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	必要に応じて見直しを行い、家族とも話し合い了解を得ながらケアに当たっていますが、介護計画書として文章化するのがタイムリーに行えていません。	○	タイムリーに介護計画書として文章化し、職員間のケアの統一のみならず、家族やご本人にしっかり理解していただけるようにしたいと思っています。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子や気づきは個人記録に記入しています。また、申し送りノートやケア気づきノート等を用意し情報の共有に努め、介護計画の見直しに活かすようにしています。	○	各職員が気づき介護計画に反映すべき点がタイムリーに活かせるように介護支援専門員と利用者担当職員が協働できる体制を整えていきたいと思っています。
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	同事業所のデイサービスを活用し、利用者の要望に応じていますが、十分な支援とはなっていません。	○	事業所が出来る事を把握した上で要望に柔軟に対応できる体制を整えたいと思っています。
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	本人の意向で地域資源と協力しながら対応した事がまだありません。	○	必要時には直ぐに地域資源と協力し対応できるように地域との関係作りをしておきたいと思っています。
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	本人の意向で他のサービスと協力しながら対応した事がまだありません。	○	必要時には直ぐに他のサービスと協力し対応できるように地域との関係作りをしておきたいと思っています。
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	本人の意向で地域包括支援センターと協力しながら対応した事がまだありません。	○	必要時には直ぐに地域包括支援センターと協力し対応できるように地域との関係作りをしておきたいと思っています。
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人、家族の希望によりかかりつけ医を設定し、定期的な往診と電話による指示を24時間対応で行ってもらっています。訪問看護サービスも入り、かかりつけ医との関係は良好でご家族は安心感を持たれています。	○	今後も協力関係を維持、強化していきたいと思っています。



項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	かかりつけ医が認知症に詳しく、職員のみならずご家族がかかりつけ医に直接相談できる体制になっています。	○	今後も継続し、協力関係を強化していきたいと思います。
45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	訪問看護サービスと医療連携を取っており、日常的な健康管理や相談を行っています。いろいろなアドバイスをもらいながら医療的支援を行っています。	○	今後も継続し、医療的支援を強化していきたいと思います。
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	定期的に病室を訪れ、本人に面会し、馴染みの顔を見てもらいながら様子を確認し、病院関係者や家族より情報をもらい早期に退院ができるように努めていますが、密接な連携は取れていません。	○	家族や病院関係者と密接な連携を取れる体制を整えたいと思います。
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	少しずつ家族の意向を確認し、現在は入居時に第一回目の話し合いをしています。ご本人の状況に応じて方向性をこまめに話し合う体制は出来ています。	○	今後もこの体制を継続し、事例をとおすことにより具体的な話し合いができと思っています。
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	現在、事例が無いため具体的な話し合いは出来ていません。現時点で検討出来ることは事に触れ話し合いをしています。	○	事例をとおすことにより、事業所で出来る事出来ない事の見極めができ、よりよい支援が出来と思っています。
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	ご本人のダメージが無いよう関係者間で話し合い情報交換に努めています。しかし、時間的余裕が無い状態で移られる場合もあり、移られた後に必要があれば支援していく体制は出来ています。	○	家族やご本人の思いを早い段階から知ることの出来るような体制を整え、ダメージをかけずに移り変えが出来るよう関係者間で情報交換をおこないたいと思います。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>			
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>			
<b>(1)一人ひとりの尊重</b>			
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人情報の取扱いには配慮しています。言葉がけについては、時として馴れ合いを感じます。	○ 馴染みと馴れ合いが混同されないようにまた、尊厳を守るということを会議や勉強会をとおして話し合っていく体制を整えたいと思います。
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	ご本人が思いや希望を表出できるような雰囲気作りに努めています。また、表情やしぐさに気かけながら思いや希望をくみ取り自己決定を促しています。	○ 今後も継続しながら、一つでも多くの思いや希望をくみ取れるような体制を強化していきたいと思います。
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	出来るだけご本人の希望に添って支援していますが、事業所の都合で時間帯を変えて入浴して頂くなど願っている事があります。	○ 一つずつでもご本人の希望にそった支援が出来るように体制を整えていきたいと思っています。
<b>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>			
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	現在、理容は職員が対応しています。ご本人も喜ばれています。	○ 希望があればお店でも理容ができるようには体制を整えていきたいと思っています。
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	事前にメニューを決めて料理をしていますが、畑で野菜を収穫したり、話題の中で食べたい物が出た場合、メニューを変更し作り方を聞きながら一緒に料理や片付けをしています。	
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのもを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	現在、日常的にお酒やタバコを嗜まれる方がおられません。おやつは自己管理されて楽しめる方はおられます。好みやご本人の嚙下状態を把握しながら楽しめるように支援しています。	○ お酒やタバコの希望があれば、楽しんで頂けるように一定のルールは設けるつもりです。また、おやつを自己管理されている方の管理方法については、必要に応じ家族やご本人と話し合う機会を作っていきたいと思っています。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	心身状態を把握しながら必要時にはオムツやパットを使用しています。失敗が無く気持ちよく排泄出来るように、表情や行動に気がけながら支援しています。	○	今後も継続し、心身の変化を敏感に把握出来るように職員間の情報の共有を徹底していきたいと思います。
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	曜日はご本人の希望に出来るだけ応じるようにしていますが、充分とは言えません。また、時間帯はご本人に了解は得ていますが職員の都合で行う事があります。	○	少しずつでもご本人の希望に添えるように体制を整えていきたいと思います。
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	寝たきりや孤立しないように配慮しながら、ご本人の希望や体調に合わせて休息出来るようにしています。		
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	ご本人の生活歴からの特技が他利用者に負担にならない程度で役割を持って日々を過ごして頂いています。	○	ご本人の自尊心と役割のギャップを上手に埋める関わりが出来るように職員間の情報の共有を徹底していきたいと思います。
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご家族より金銭をお預かりしている方はおられます。認知症の進行に伴っての事と思いますが、ご本人が所持や使用を希望されません。機会を見つけては一緒に買い物しながら、支払い等をして頂いています。	○	積極的に自分の欲しい物を自分で買うという機会を作っていききたいと思います。
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	気候や体調を見ながら出かけられるようにしていますが、目的地が希望にそっていない事があります。	○	少しずつでもご本人の希望に添えるように体制を整えていきたいと思います。
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	機会を作っては皆様と外出をおこなっています。また、家族の協力が必要な場所は家族と話し合いをしながら支援しています。	○	今後も継続しながら、ご本人が外出できる状態ではないと思われているご家族にも働きかけをおこない、ご本人の希望にそえるように努力したいと思います。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご希望に添って対応しています。	○	ご本人自ら訴えられない方に対する関わり方を見直していきたいと思います。
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	知人等の訪問は積極的に受入しています。建物の限られたスペースではありますが、居心地よく過ごして頂けるように努力しています。	○	今後も居心地のよいスペース作りに心がけ、ご家族や知人等と楽しい一時が過ごせるような環境を作りたいと思います。
<b>(4)安心と安全を支える支援</b>				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束をしないケアに取り組んでいます。	○	継続的に勉強会を開きながら身体拘束についての理解を深め具体的な行為を認識できるようにしたいと思います。
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	外に徘徊される方がおられますが、同事業所のデイサービスの職員や近所の方の協力を得て、居室や日中玄関には鍵はかけていません。	○	ご入居の方の状況に応じて、検討を重ねながら鍵をかけない見守りを継続していきたいと思います。
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	日中は数名の職員で目配りしていますが、所在の確認や安全への配慮が十分に出来ないことがあります。	○	事が生じた時に「ちょっとドッキリ」「ひやり・はっと」「事故報告書」を記入し、職員間で対策を検討しています。また、会議の場でも議案にして再発防止について話し、安全に配慮していきたいと思います。
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	皆様に危険なものは一律に行いますが、一人ひとり危険な物品は違いますのでその人に合わせた取り組みをしています。	○	どのようなものが危険となりえるのか、職員間で意識統一しその人に合わせた対応をしていきたいと思います。
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	薬袋に朝・昼・夕のチェックや同じ苗字の方にもチェックを入れ間違いが無いようにしています。また、一人ひとりの状態を把握し、職員間で情報を共有しながら事故防止に努めています。	○	今後も継続し体制を強化していきたいと思います。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	救急対応マニュアルは各自持っています。しかし、職員全員必要性を感じながらも、定期的な訓練の場を設けられていません。	○	訪問看護と医療連携を取っていますので、訓練の場や勉強会を設けたいと思います。
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	運営推進会議の際、災害時に近隣の方のご協力をお願いします。避難訓練は年1回行っています。	○	今年度は消防署の協力を頂いての訓練は出来ていません。毎年実施できるようにしていきたいと思います。
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	ご本人の状況が変わりリスクが変わるごとに、ご家族に報告し対応について意見や要望を頂きながらケア方針を決めています。	○	今後もご家族と密接に相談できる関係を続け、ご本人にとってより良い対応をしていきたいと思います。
<b>(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援</b>				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	心身の変化について気付いた際は、個人記録、申し送り、ケア気付きノートを活用し情報の共有に努めています。	○	ケア気付きノート等が十分に機能していない面もあります。より一層充実を図って、情報の共有を強化したいと思います。
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方箋を個人記録に綴じいつでも確認が出来るようにしています。	○	会議の場などで確認しながら職員が常時把握出来るようにしたいと思います。
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	いろいろな情報を取り入れ食べ物への配慮や運動の働きかけは常時行っています。働きかけに対しご本人が嫌がられる場合は他の方法を検討したりしてスムーズな排便に心がけています。	○	今後も継続し、心身状態を見極めながら働きかけしたいと思います。
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後のケアはご本人の心身の状況に応じて対応しています。残歯がある方は、自分で磨かれた後チェックを行い、義歯の方は定期的に洗浄剤で消毒をしています。	○	今後は訪問歯科等を活用し、口腔ケアに努めたいと思います。また、職員が口腔ケアの重要性の理解を深められるように勉強会への参加や開催を考えていきたいと思います。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食べる量や形態はその人に合わせまた、食事摂取量はチェック表を活用して把握しています。水分については、必要時に水分チェック表を使用し職員間や日によって不足が無いように気がかけています。	○ 水分を自ら希望されない方に対する配慮を今後も継続し強化していきたいと思います。
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	インフルエンザ予防接種は、入居の皆様のみならず職員全員が流行前に実施することにしてあります。また、各疾患の症状の理解に努めています。	○ 訪問看護と医療連携を取っていますので勉強会を設け、職員が理解を深められるようにしたいと思います。
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	設備や備品等が不十分ですが、勉強会で得た情報を取り入れながら管理に努めています。	○ 少しずつでも設備や備品も整えながら衛生管理に努めたいと思います。
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>			
<b>(1)居心地のよい環境づくり</b>			
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	建物の立地場所が敷地の奥にありますが、花を植えたり親しみやすく入りやすい雰囲気作りに努めています。	○ 外来者や家族の方に印象を尋ねたり、アイデアを頂きながら入りやすい雰囲気を作っていく努力を続けていきたいと思います。
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	居間や食堂は構造上採光はいいのですが、季節の花を飾り明るくなるようにしています。また、廊下には絵画や入居者の作品を飾って雰囲気作りをしています。しかし、トイレは消臭剤を置いています、大便をされた後の消臭がその都度できていません。	○ 匂い、音、光が入居者の皆様に与える影響を職員が理解して対応していけるように、勉強会や、会議の場で話題にしていきたいと思います。
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	気持ちよいと思われる場所が複数の方が同時に感じられ一箇所に集まられることがあります。一つずつ居場所を増やしていくように努めています。	○ 限られたスペースであっても固定観念に囚われず、居場所作りに努め、皆様それぞれに居心地の良い場所を提供できるようにしたいと思います。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご本人の馴染みの物を持ち込み居心地良く過ごされるように家族の方に協力をお願いして、少しずつ進んでいます。	○	今後も家族の方に馴染みの物の持込を理解して頂けるように説明を続け、協力をお願いしていきたいと思います。
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	建物全体が24時間換気システムを取っていますが、必要に応じ窓を開け換気や臭気を排出しています。また、温度調節はこまめに利用者の状態に合わせて行っています。	○	換気により臭気が取れない場所には、消臭剤や芳香剤を活用し入居の皆様にご不快が無いように努めたいと思います。
<b>(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり</b>				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	建設された時点想定された利用者のレベルと現在利用されている方のレベルにギャップがあり、見直さなければならない点もありますが、現設備の中で出来るだけ身体機能を活用し生活して頂いています。	○	見直しが必要な箇所は一つずつでも改善していきたいと思っています。
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	心身状態に合わせた声かけを気げながら混乱を防ぎ、自分できるところは自分でして頂くように支援しています。	○	ご本人の心身状態を的確に把握できるよう常に努力していきたいと思っています。
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	散歩や日光浴ができるようにベンチを配置し、また、障害物を取り除くようにしていますが、まだ充分とはいえません。	○	全てのレベルの方が利用しやすいように環境を整えていきたいと思っています。

V. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と
			②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない



項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている		①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
		○	③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている
			②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、生き生きと働いている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

**【特に力を入れている点・アピールしたい点】**

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

- ・ 小学校の校庭に隣接している為小学生との交流が活発で、今後もいろいろな関わり方で交流を深めていく予定です。
- ・ 敷地が広い事もあり、畑作りで入居者の経験や知恵を生かし、収穫した野菜を料理に使うことで切り方から煮炊きの方法を教えてもらうなど、それぞれに役割を持って頂いています。